

開 校 宣 言

令和2年4月1日をもって、奈良県立国際高等学校を開校することになりました。この学校が、新しい価値を創造する場として、永遠に発展を続けることを祈念しつつ、ここに開校を宣言いたします。

令和2年4月9日

奈良県教育委員会

式 辞

暖かな日差しに、校内ではコバノミツバツツジが美しく咲きほこる今日の佳き日、開校宣言を受け、168名の新生を迎えて県立国際高等学校がここに誕生いたしました。県教育委員会、県立登美ヶ丘高等学校をはじめ関係機関の皆様には、開校に向けてご尽力を賜りました。厚く御礼を申し上げます。

変化がますます激しくなるこれからの時代を生きる子どもたちには、社会の変化に受け身で対処するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、その過程を通して、自らの可能性を最大限に発揮し、自ら人生を創出することが求められます。このような時代の要請を受けて「県立高等学校適正化実施計画」が策定され、ここに県立国際高等学校が開校することとなりました。県立国際高等学校は、多様な人々と積極的なコミュニケーションを通して、グローバルな視点でものごとを捉え、国際社会の平和と発展に貢献する資質・能力を育成することを Mission としています。

さて、2020年は人類にとって忘れられない年となっています。

世界中の人々が、新型コロナウイルスの猛威に怯え、日常生活を取り戻すことができる日がいつになるか、先の見通しも立たない状況です。多くの命が失われ、当たり前前の生活が世界中から奪われています。事態の収束により、再び平和で安らかな社会が訪れることを願うばかりです。

ただ、この出来事を契機に、世界全体が、これまでの価値観や社会のあり方を根本的に見直し、持続可能な社会の実現に向けて大きく舵をとっていくことになると考えています。このような時代にこそ必要なのは、まさしく「新たな価値を創造できる力」です。未知の課題、答えのない課題に対して毅然と立ち向かっていくことが必要となります。そのために必要なのは、自ら発見した課題の解決に向けて、知識を活用し、仲間と協働しながら、主体的に取り組むことのできる力です。多様性を認め、様々な試練があってもそれを克服し、解決に向かう力も必要となります。国際高等学校では、授業はもちろんのこと、学校行事などすべての教育活動を通じて、これらの力を育み、国際社会の平和と発展に貢献することのできる人材を育成していきたいと考えています。

いよいよ本日より新たな学校がスタートします。

生徒の皆さん、数ある学校の中から、この学校を選んでくれて本当にありがとうございます。皆さん一人一人がこの学校を創造する開拓者（パイオニア）です。県立国際高等学校の歴史を共に創っていきましょう。

保護者の皆様、教職員の皆さん、生徒たちひとりひとりの輝かしい未来のために、共に手を取りあって、子どもたちを育てていきましょう。

登美ヶ丘高等学校の生徒、教職員、保護者、地域の方はじめ関係者の皆さま、国際高等学校は、これまで登美ヶ丘高等学校が築いてこられた伝統や文化を大切にしていまいります。同じ校地にある学校として両校の生徒たちのかけがえのない未来のためにご協力をお願いします。

そして、最後になりましたが、国際教養大学、日本国際交流振興会、国連世界観光機関駐日事務所をはじめ関係機関すべての皆様、国際高等学校の理念をご理解くださり、開校に至るまでご協力いただき感謝申し上げます。これからもこの国際高等学校を共に育てていただきますようお願いいたします。

ここにおられるすべての皆さん、関係者の皆様とともに、新たな価値を創造する学校づくりに邁進することをここに誓い、式辞とさせていただきます。

令和2年4月9日

奈良県立国際高等学校 校長 中尾 雪路